

ニュースレターくもと News Letter Kumamoto

夏
Summer
2011
vol. 90

■ Publisher : Kumamoto International Foundation
4-8Hanabata-cho, Kumamoto City, 860-0806, Japan
Tel : 096-359-2121 e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp
URL : http://www.kumamoto-if.or.jp/

■ 発行 : (財)熊本市国際交流振興事業団
〒860-0806 熊本市花畑町 4-8
Tel : 096-359-2121
e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp
URL : http://www.kumamoto-if.or.jp/



CONTENTS

フェアトレード・シティ誕生、祝・熊本市!1・2・3P	世界を知る6P
ちょっといわせてはいよ4P	未来のために7P
ちょっといわせてはいよII5P	ちょっと日本語8P

フェアトレード・シティ誕生、祝・熊本市!

～ MAKE TRADE FAIR!を目指して ～

2011年6月4日、熊本市は、アジア初・世界で1000番目となる「フェアトレード・シティ」の認定を受けました。当日は、国際交流会館で、一般社団法人フェアトレードタウン・ジャパン(FTTJ:Fair Trade Town, Japan)の渡辺龍也代表理事より、幸山政史熊本市長と明石祥子フェアトレード推進委員会代表へ当該証書が手渡されました。

FTTJは、フェアトレード・ラベル*やWFTO**傘下のフェアトレードに限らず、多様なフェアトレードの普及・啓発を通して、途上国における貧困削減や環境保護だけでなく、日本国内の地域社会の活性化や自律的な発展にも寄与する「フェアトレード・タウン運動」を推進する組織です。今回の特集では、渡辺代表理事に、フェアトレード、そして、フェアトレード・シティについてお話を伺いました。

Q.フェアトレードとはどのような運動でしょうか?

発展途上国の疎外されがちな零細な生産者が作った産品を公正な価格で購入することで、彼らが貧困から抜け出し、自立した生活ができるよう支援する運動です。それは、地球上で生を受けたすべての人が、置かれた環境に係わらず基本的人権が保障され、自分らしい生活を送ることができるようになることを目指しています。

フェアトレードは、一方的に何かをしてあげるといふ国際協力活動ではなく、途上国の生産者が自ら産品を生産・販売し、それらを公正な価格で購入するという双方向の関係で成り立っています。依存関係を絶ち、自立と自律を促し、そして支援する側・される側の関係ではなく、対等なパートナー関係を世界中に発展させていく国際協力活動です。

さらに、今ある国際貿易の枠組みそのものをフェアにしていくこともフェアトレードの大きな目的です。(非)関税障壁・人材交流など実際に起きている課題について考察し、企業や政府に対して様々な働きかけをしていくことも、その重要な役割になります。

Q.フェアトレード運動は、ビジネス、それとも、国際貢献?

「フェアトレード」という言葉自体が物語っているように、「フェア」=「公正な」社会を作る、市民運動で「社会正義」を達成すると同時に、「トレード」=「貿易(ビジネス)」として成り立たせるということで、ビジネスと国際貢献がお互い対立する概念ではなく、両立しています。

フェアトレードを推進している団体・個人間でも考え方には違いがありますが、それぞれに間違いではありません。それは、「フェア」という社会正義と、「トレード」というビジネスのバランスをどう取るかによって出てくるもので、どの団体や個人の考え方こそが正しいというものではないと思います。団体や個人によっては、国際貢献を重視し、利益は生み出さないけど、途上国の生産者の手作り産品を購入し続けている場合もあるでしょう。フェアトレードは、ビジネス的、企業的な活動から、国際貢献を最重視した社会的、チャリティー的な活動まで幅がありますが、それぞれに「公正」「社会正義」という基盤の基に、取引として持続的・継続的なものである必要があります。



渡辺FTTJ代表理事

Q.地方自治体がフェアトレード・ビジネスを支援するということ…その意義は?

自治体は、地場産業を支援し、地域の経済振興を図ります。これには、当然、税金を使っています。フェアトレード・ビジネス支援についても同様です。税金を投入し、ビジネスを支援する時、「環境に配慮しているビジネス」と、「環境を破壊するビジネス」のどちらを選ぶかは、自明の理ですし、2000年には「グリーン購入法」が制定されています。それと同様に自治体自体が何かを購入する場合も、意識的にフェアなもの、フェアな購入先を選んでいくことが必要ではないでしょうか。例えば、自治体がエコ推進を目的に高額な電気自動車を購入する時に、購入を批判する人はいないと思われず。

現実に、英国をはじめとしたヨーロッパ諸国では、政府が購入する場合、機能が同等であれば少々値段が高くてもフェアトレード産品を選ぶ政策がとられています。これは国民の合意が前提となり、一人ひとりがフェアトレードを理解し、フェアトレード産品の購入が日常化しているからです。日本では少々値段が高くてもフェアなものを選ぶという考え方が国民感覚としてまだまだ浸透しているとは言いがたい状況で、自治体が値段がより高いフェアトレード産品を積極的に購入することに対して批判が出ることもあるでしょう。そうした時には、皆さんの税金を使うことによって「アンフェア」である可能性のある生産や取引を助長するのではなく、「フェア」であることが確認されている生産や取引を後押しすることで公正な社会作りを寄与することこそが行政の責任である、という視点に立って、フェアな購入を率先していく気構えを見せて頂きたいと思えます。



フェアトレード・シティ誕生を記念してパレードが行われました

Q.熊本市がアジア初、世界で1000番目のフェアトレード・シティとなった意義は?

世界20カ国にフェアトレードタウンが広まっていることからすれば、遅すぎたという声もありますが、これまでぽっかり空いていたアジアの中にフェアトレード・シティ熊本市が誕生したということは、本当に大きな意義があると言えます。1000番目のフェアトレード・シティとなったということは、世界の他の1000都市とフェアトレードでつ

ながり、貴重な市の財産となることでしょう。

最も大事なことは、熊本市のフェアトレード推進委員会や行政、関係団体、そして市民の方々が、熊本市がフェアトレード・シティとなった意義を見つけ、それを地域の活性化と発展に如何に結びつけていくかということだと思います。これからフェアトレード・シティとなった真価が問われることになるでしょう。

Q.フェアトレード・シティ熊本市へ期待することは?

FTTJとして、地域経済の活性化につながるようなフェアトレード・シティであって欲しいと期待しています。フェアトレード運動が地域内に広がり、まちづくりに貢献していくことです。

市民の方々にとってフェアトレードは、第3世界 - 途上国の問題と認識されがちで、経済不況の中、「なぜ高いものを買わなければならないのか?」という疑問も聞かれるでしょう。日本国内でも非正規雇用や失業の問題が深刻化していますが、元をたどれば海外で安く買い叩くことが途上国の労働賃金を押し下げ、そうして安く生産された途上国産品・製品に太刀打ちするために国内の賃金を切り下げ、リストラせざるを得ないというように、「買い叩き」がブーメランとなって自分たちの労働と生活の質を直撃しているわけです。つまり、途上国の貧困問題も国内の格差や生きにくさの問題も、安さだけを求めることに端を発しているのです。企業が少しでも安く商品を提供し、お客様に喜んでもらいたいと考える気持ちは間違っていないが、「安ければ良い」という経済や私たちの考え方自体を見直す時です。フェアトレード運動をとおして、途上国の自立支援だけでなく、国内の低賃金労働・農産物の買い叩きなど歪んだ経済・社会の在り方を是正するため、フェアという意識、理念を人に地域に浸透させていくことが期待されます。

また、地域が誰でも人間らしく自分らしく生きられる場所となるように、フェアトレードの精神が広がっていくことを期待したいと思います。例えば、社会的弱者である障がい者の自立を支援していくため雇用促進法等が整備されても、彼らが健常者と同等に生活するにはまだまだ厳しい社会の現実があります。生産性の重視だけでなく、社会全体の豊かさ、幸せを追求していくことが大切です。私の大学でのフェアトレード・チョコレートの販売プロジェクトでは、障がい者の施設に「有給の仕事として」チョコレートの袋詰めをお願いしました。

Q.フェアトレードの拡大に向けたFTTJの今後の取り組みについて

FTTJでは、フェアトレード・タウン運動をより広く正確に理解してもらうためのパンフレットやパネルの作成、また、フェアトレード産品を販売しているお店には広報ステッカーを掲示してもらうなど、広報活動を計画しています。消費者のフェアトレードへの関心を広げ、理解を深め

てもらおうと共に、フェアトレード産品を扱うお店同士の連帯感を育んでいきたいと思えます。

また、フェアトレードに対する意識調査を全国レベルで行う計画です。国民のフェアトレードに対する意識の変化を知るためにも数年毎の調査が必要となります。

最近、フェアトレードのイベントに、多くの若い人たちの姿が見られるようになりました。国際貢献につながるビジネスへの関心は、若者にとって大きな魅力となっています。若者の(社会的)企業への関心が高まっていますが、フェアトレードで起業したいという学生も多く、中には高校生の時からフェアトレード・ビジネス構想を抱いている若者もいます。企業の社会的責任がクローズアップされていることも、フェアトレードへの関心を高めています。このような若者の感性を育て、豊かな社会づくりを推進するため、フェアトレード団体が小中学校に出かけて行って、フェアトレードについて話をする機会を増やし、それを行政がバックアップしていくことがフェアトレード・タウン運動の取り組みの一つにあげられます。

(以上、渡辺氏へのインタビューより)

当事業団では、国際交流会館内の実体験プログラム「ウォーキング・ガイド」で、フェアトレード・チューデントカフェ「はちどり」と協力して、フェアトレード・コーヒーの試飲や絵本、映像をととしてフェアトレードを学んでいただ



高校生が国際交流会館でフェアトレードを体験しました。

ける機会を提供しています。また、学校や公民館等への出前講座(地域国際化推進事業)でも、フェアトレードに関するプログラムをご用意しています。お気軽にお問い合わせ下さい。

フェアトレード・ラベル*:フェアトレードに明確な基準を設定し、それを守った製品であることを買う人に分かりやすく伝えるために製品にラベルを貼る、というコンセプトで始まったのがフェアトレード・ラベル運動です。

国際フェアトレード認証ラベルは、その製品が原産国で生産されてから、日本で「フェアトレード認証製品」として店頭に並ぶまでのすべての過程で、国際フェアトレードラベル機構FLO(Fairtrade Labelling Organizations International)の国際フェアトレード基準が守られていることを証明しています。(「NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン HP」より)

WFTO**:開発途上国の立場の弱い人びとの自立と生活環境の改善を目指す世界中のフェアトレード組織が1989年に結成した国際的なネットワークです。欧米や日本の輸入団体と、アジア、アフリカ、中南米の生産者団体、合わせて約70ヶ国350団体が加盟し、情報を共有しながら公正な貿易の普及を目指しています。(WFTO公式サイトより)

フェアトレード・シティ宣言について熊本市からのメッセージ

2011年6月4日、熊本市はアジア初、日本初のフェアトレード・シティに認定され、同日、熊本市国際交流会館で行われた認定証授与式では、熊本市民を代表し、フェアトレード・シティ推進委員会代表の明石祥子氏及び幸山政史熊本市長に、フェアトレードタウン・ジャパンより認定証が授与されました。

今回、熊本市はスペインの首都マドリードやドイツのヘルンなど7都市と同時に世界1000番目の都市として認定されましたが、すでにヨーロッパのロンドンやパリ、ローマ、また、アメリカのサンフランシスコやカナダのバンクーバーなどの21カ国の都市がフェアトレード・シティとなっており、これらの都市とつながりを持つことは本市にとって大変名誉なことであり、また、同時に責任の重さを感じるころです。

フェアトレードとは、アジアやアフリカ、中南米などの途上国において作られた産品を適正な価格で購入することにより、公正な貿易を推進し途上国の人々の生活を支援していく国際貢献活動で、これまで熊本では、フェアトレード・シティ推進委員会をはじめとする民間団体により長年にわたり熱心な取り組みが行われてきました。

熊本市では、その活動が大変意義あるものであるとし市政だよりなどの媒体を使い広く市民への周知を進めてきましたが、市議会においてもフェアトレード推進に関する要望が度々行われ、平成22年12月遂に、フェアトレードの理念周知に努める決議がなされました。ここに民間、行政、議会の一一致した運動として認定されるに至りました。

熊本市としては今後、このフェアトレード・シティの認定を機に、国際貢献や人権尊重の精神、さらには人道的見地を尊重し、更なる理念周知に積極的に努めて行くと共に、日本のみならずアジアに多くのフェアトレード・シティが誕生し、一緒になって途上国の支援を行って行くようになりますことを願うところです。(熊本市シティプロモーション課国際室)



左から:
渡辺FTTJ代表理事
明石フェアトレード・シティ推進委員会代表
幸山熊本市長

Japanese Tip
ちよっと

いわせて
はいよ

Auf Wiedersehen!

熊本市国際交流員(ドイツ) フローリアン アクスト さん



2008年8月からの3年間、私は国際交流員として熊本市に勤務しました。今年の8月にその任期が終わります。3年間を振り返ってみると、本当にあっという間でした。

私は、熊本市役所の文化国際課(現:シティー・プロモーション課国際室)及び、国際交流会館にて様々な業務をさせていただきました。熊本の友好都市であるドイツ・ハイデルベルクからのお客さんを歓迎・案内したり、ドイツのライブツィヒで開催された国際交通フォーラムに同行通訳として行かせてもらったりしました。残念ながら、今年は東北震災、特に福島原発事故の影響で予定されていたドイツとの交流がすべて中止となりました。今は、一日でも早い被災地の復興と原発問題の修復を願い、以前のようにドイツ人を始め、より多くの外国人に熊本の魅力を知ってもらいたいと願うばかりです。

一方で、国際交流員としてたくさんの熊本市民の方と触れ合うことができたことも、私にとって大きな喜びでした。主に小学校の低学年を対象とした学校訪問で、熊本の子供たちにドイツの文化、生活習慣、遊びやゲームを紹介しました。未来を担う子供たちに、少しでもドイツや外国に興味を持ってもらえたのなら幸いです。また国際交流会館では、市民向けのサロンやドイツ相談の事業を通して、幅広い年齢の方々と有意義な交流ができました。いつもサロンにご参加いただきありがとうございました。

熊本に住んでわずか3年ですが、私が思う熊本の良さは「バランスの良さ」です。中心街は賑やかで、徒歩圏内には歴史や文化を代表する熊本城や二の丸公園があります。そして、最近の私のお気に入りスポットは江津湖です。時間を見つけては、子供を連れて江津湖周辺で散歩をしたり、ランニングをしたりしています。心身共にリフレッシュできます。

また、阿蘇には雄大な阿蘇五岳、天草には海があり、大自然に囲まれて暮らすことのできる本当に恵まれた環境だと思えます。熊本の人は優しく、私の両親も2度熊本に来たことがあるのですが、どこに行っても親切にもらったと、熊本の人のおもてなしに感激していました。そして、何と言っても熊本は水がおいしいです。おいしい水から作られる農作物が、これまたおいしい!お米も野菜も果物も、そして…もちろんお酒も!

市役所及び国際交流会館からは離れますが、熊本には残ります。見かけたら気軽に話しかけてください。今後も日本とドイツ、熊本とハイデルベルクの友好関係が深められることを祈念しております。今までお世話になりました。皆様、どうぞお元気で。

Auf Wiedersehen!(アウフ ヴィーダーゼーエン:さようなら、またお会いしましょう!)

◆国際ナショナルサロン◆

国際交流員をはじめとして在住の外国人の方と気軽に国際交流が楽しめる大好評の国際ナショナルサロン。7月、8月の予定は下記のとおりです。お申し込みは毎月1日からの受付となります。お早めにご予約下さい。参加費は各300円です。

- 定員:各18名
場所:熊本市国際交流会館2Fミーティングルーム
時間:(1)~(4) 14:00~15:00、18:30~19:30
(5)~(6) 14:00~15:00
(7) 18:30~19:30
- (1) 外国を知ろうサロン 7月13日(木)、8月25日(木)
 - (2) 英語サロン 7月12日(火)、8月16日(火)
 - (3) ドイツ語サロン 7月19日(火)、お休みします
ドイツ語サロンではアクストさんの最終サロンとなります。
テーマ:Auf Wiedersehen!
 - (4) 中国語サロン 7月26日(火)、8月23日(火)
 - (5) 中国語を学ぼうサロン 7月15日(金)、8月19日(金)
 - (6) 韓国語を学ぼうサロン 7月22日(金)、8月26日(金)
 - (7) フランス語サロン 7月15日(金)、8月19日(金)

◆つきいち世界を知ろう!◆

国際交流員が講師となり小中学生を対象に、月一回世界中のおもしろい習慣や風習を体験したり、歴史について学びながらもっと世界を身近に感じてもらうイベントです。参加無料!

小中学生
対象

- ◆7月のテーマは“アメリカの独立記念日”
アメリカでの最大の夏祭りともいえる「独立記念日」。アメリカの人々はどうやってこの日をすごすのでしょうか?
講師:ベンジャミン・グリフィンさん、フローリアン・アクストさん、蘆 芳輝さん、申 恵智さん
日時:7月17日(月) 10:00~11:30
場所:熊本市国際交流会館4F第1会議室
定員:30名
参加方法:7月1日(金) 9:00から申し込み受付
- ◆8月のテーマは“韓国の料理づくり”
暑い夏を乗り切るために韓国で食べられているメニューとは?!簡単にできてスタミナたっぷりの美味しい韓国料理と一緒に作ります。
講師:申 恵智さん、蘆 芳輝さん、ベンジャミン・グリフィンさん
日時:8月20日(日) 10:00~11:30
場所:熊本市国際交流会館4F第3会議室
定員:30名
参加方法:8月1日(月) 9:00から申し込み受付開始

ちよっと
Japanese Tip

いわせてはいよⅡ

はじめまして

熊本市国際交流員(中国) 盧 芳輝(ロ ホウキ) さん

皆さん、初めまして、中国の南部、ベトナムと国境を境にしている広西チワン族自治区の広西大學外国語学院から来ました盧芳輝と申します。中国で日本語を教えておりますが、まだ勉強しなければならないところが多いので、よろしくお願いたします。日本には今まで短い旅行を含めて、5回目となりますが、日本で仕事し、生活するのは今回が初めてのこととなります。試行錯誤を試みながら、自分のこと、自分の国のこととして、日本のことに対する理解を考え直せればと思います。

思えば5月26日に南寧を立て、31日に北京から日本へ向かい、そして、6月1日に熊本に着いてからあっという間に一週間が経ってしまった気がします。現在、熊本の合志市に住んでいらっしゃる江口さんの家に泊まらせていただき、お子さんの運動会にも連れて行っていただきました。こんな短い

間にとっても楽しい体験がたくさんできるとは思っていませんでした。それは熊本の市役所に来てから、いろいろな手続きを進めている時やホームステイしている時に感じたことですが、いずれも初めて熊本に来た私には新鮮で不思議なことでした。まず、銀行は中国とは違い、午後三時からもう業務を引き受けないというちょっとしたショックと、小学校の運動会には家族や親戚の人がお弁当を持って、応援に行く感動ということです。中国と違う文化やルールにこれから約一年間の生活の中できっとたくさん巡り合うだろうという覚悟を覚えながら、国際交流員を務める私に何か相互理解を深めることができればと思います。「一年が十年に」という研修の時に教えられた言葉を頭に入れ、楽しく充実した日々を過ごしていきたいものです。熊本市の皆様、くれぐれもどうぞ、よろしくお願いたします。



飛騨高山



黒部ダム



京都国立博物館

国際掲示板

日本語指導者養成講座 in 八代

開催目的及び内容：今、私たちの周りに生活のために日本語を必要とする人たちが増えています。このような人たちに日本語支援をするためにはどうしたらいいか第一線で活躍中の講師を囲んで一緒に考えてみませんか。この講座は文化庁日本語教育支援事業の委託事業として行います。

日 時：①7月30日(土) ②8月18日(木) ③9月17日(土)

時間はいずれも 10:00 ~ 16:00

10月以降も開催、全8回40時間の講座

場 所：やつしろハーモニーホール(八代市)

対 象：外国人のための日本語支援に興味と感心があり積極的に活動に参加を希望する人

参加費：無料

問い合わせ先：NPO法人日本語サポートあさ

e-mail nihongo.asa@mbn.nifty.com

Tel.0965-62-2641 (尾上)

2011年(第13期)市民講座「アイルランドの心の響き」

①講座「ハーン作品にみるアイルランドの影響」

日 時：7月23日(土) 14:00 ~ 15:30 (90分)

場 所：小泉八雲旧居(熊本市)

講 師：藤原まみ氏

②講座「イエイツのアイルランド」

日 時：2011年8月20日(土) 14:00 ~ 15:30 (90分)

場 所：熊大五高記念館(熊本市)

講 師：伊藤裕起氏

対 象：どなたでも

参加費：無料

問い合わせ先：熊本アイルランド協会

Tel.096-366-5151 (お菓子の香梅内)



世界を知る It knows the world.

このページは世界を知るをテーマに「国際協力」については、独立行政法人国際協力機構(JICA)デスク熊本のご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介いたします。

エルサルバドルの小さな島にて

てんじん
青年海外協力隊 天神さおりさん
村落開発普及員 (熊本市出身)

中米に位置するエルサルバドルは、四国程度の大きさの、小さな国です。

エルサルバドルといえば、「内戦」というイメージを持つ方が多いかもしれません。

1992年まで13年ものあいだ続いた内戦は、今でもその傷跡を多く残しています。崩壊した建物に限らず、町を歩けば内戦で傷ついた、片足や片腕の無い人たちを目にする機会も多いです。又、治安が悪いことも重なり、ただでさえ日本で認知度の低いエルサルバドルには、あまり良い印象を持つことは少ないでしょう。

しかし実際は、悪いことばかりではありません。サルバドル人はみんな明るくフレンドリーで、男性が女性やお年寄りに優しいことは特に印象的です。

今では首都は非常に発展していますし、素敵な観光地もあります。エルサルバドルの海はサーフィンでも人気が高いそうです。

私は2011年1月より、青年海外協力隊の村落開発普及員としてこの国で活動を行っています。私の任地は首都から南東へ280km程離れたフォンセカ湾内にある島、メアングラ・デル・ゴルフォ島。本土からボートで1時間の場所にある、市場も無い小さな島ですが、目の前には広い海と隣国ホンジュラス、ニカラグアが望めるとても素敵な場所です。

島民はみんな優しく、たった1人で突然島にやってきた外国人である私に対しても、沢山の人が良くしてくれて、すぐに多くの友人ができました。

現在の仕事は大きく分けて2つあります。

まず1つ目は、牡蠣の養殖に関する仕事です。



ここでは以前、漁民の生計向上を目的としたモデルプロジェクトが実施されていました。それにより1つのグループが現在牡蠣の養殖を行っていますが、自立発展の過程で組織強化や養殖生産物流通のための支援を必要としています。

そして2つ目は、女性グループの確立と指導。

今は約30人の女性を集めて、ビーズや貝殻・植物の種などを使ったアクセサリー作りのワークショップを行っています。この女性達をしっかりと組織化することで、今後の島の発展に少なからず影響を与えることができると考えていますが、まだまだ始まったばかりで難しいところです。

近い将来は、牡蠣の養殖に必要な網かごをこの女性グループに作ってもらい、漁民と女性達が連携していく体制を作りたいと考えています。

エルサルバドルへ赴任して早5ヶ月が経ちました。

まだまだ仕事は試行錯誤の毎日で不安なことや辛いことももちろんありますが、1つずつ自分にできることを、そして、楽しみを見つけながら頑張っています。

2年後エルサルバドルを愛しみつつ、笑顔で日本へ帰国できるように、毎日を大切にこれから頑張っていきます。

あなたの企業も一緒に情報発信しませんか!?

この「ニュースレターくまもと」は、当事業団の機関紙として平成7年11月の創刊以来、熊本の国際交流・協力に関する情報を、日本各地の国際交流協会、国際交流・協力機関や市民、在住外国人の方々を中心に幅広く発信し、国際交流・協心に感心を持つ人、開発教育関係の教育者、留学を考えている人、異文化理解に興味を持つ人など、多くの方々にご愛読いただいています。

* web でも公開しています。(<http://www.kumamoto-if.or.jp/>)

発行：年4回(4月、7月、10月、1月) 部数：3,000部

配布先：市内の小・中学校、高校、大学、全国の国際交流協会、市内の国際交流・協力団体、当事業団のボランティア登録者及び賛助会員(約500名)、熊本市役所関係機関(市民センター、公民館等)、熊本市国際交流会館内

広告の種類：1/4ページ(この広告募集のサイズです)

契約期間及び料金：単発(1回) 20,000円、半年契約(2回) 30,000円、年間契約(4回) 40,000円

未来のために

ここでは、私たちの未来を考える上でとても重要な視点である共に生きる社会、多文化共生について
 専門家である羽賀友信さんにシリーズでご寄稿いただいています。

東日本大震災からの報告(第一回)

「3月11日 午後2時46分」ビルの中にあたるところゆっくりと船酔いのような揺れを感じました。とうとう体の具合が悪くなったのかと思いましたが、天井を見るとプレートが揺れており、長周期の揺れを伴う地震が起きていると気づきました。およそ2分間ゆるやかな揺れが続きました。確認のためにニュースを見ると、今までに見たことのない映像が映っていました。その夜、長野・新潟県境でも大規模な地震が発生しており、プレートが東北地方で動いたことによる歪の解消現象だということでした。

国際復興支援チーム中越から、一人を現地に派遣することを決め、長岡には社会福祉協議会が運営するボランティアセンターと、それをサポートする専門家集団(障害者・介護・子育て・外国人・青年会議所・地域おこしNPOなど)で構成されるバックアップセンターの立ち上げを検討しました。

同時に東北地方における外国人の被災状況を調査しましたが、まったく情報が入らず、とりあえず多言語支援センターを立ち上げた(財)仙台市国際交流協会(以下:協会)を支援するために現地に入りました(3月13日)。宮城県には登録された外国籍市民が約1万2千人おり、そのうち約5千人が東北大学関係者でした。多言語支援センターは協会が市からの委託を受け準備を進めていたものであり、拠点は東北大学に隣接する国際センターでした。運よく仙台市の中央部は被災程度も小さく、12日には電気・水道は復旧していたので、恵まれた環境で支援を行うことができました。しかし一般の外国籍市民の被災情報はほとんど入らず、留学生に関する情報がほとんどでした。センターは協会の交流員と東北大学大学院の留学生を主体とし、24時間体制で16日まで、それ以降は日中の相談業務に切り替え運営を

していました。

当初は津波の災害を想定して情報の収集・発信をしていましたが、原発のニュースが流れると同時に、各国から問い合わせが殺到し、現場は混乱しました。電話は2台で対応し、「受け手」「筆者」「情報収集者」

の3者が連携して、切れ目なく活動しました。しかし各国大使館から留学生達に国外退去命令が出され、また母国の家族からも帰国を促す連絡が入り、ボランティアである留学生は困惑しました。留学生は「仲間や世話になった地域の人々を見捨てて帰国することは、この先人間としてやっていけない」という思いが強く、帰りたいが帰れないという葛藤を繰り返し、泣きながら支援活動をしていました。

15日にはボランティア全員を集めて、本音を言ってもらい午前中をもってボランティア活動を解散することに決定し、自己判断により行動することを促しました。以降の多言語支援センターは協会スタッフとセンタースタッフで運営することとしました。

各国が臨時フライトと送迎バスを用意し、雪崩のように帰国の途につきました。しかし何人かはお世話になった日本人が被災していることを知り、津波の被災地への支援活動に参加し帰国しませんでした。帰国した留学生も後日、ほとんどが日本に戻ってきました。



筆者:羽賀 友信さん
 長岡市国際交流センター「地球広場」センター長
 新潟NGOネットワーク顧問
 JICA地球ひろば 国際協力サポーター
 長岡市教育委員、JICA専門家
 ※当事業団多文化共生アドバイザー



ちよつと日本語

Japanese Tip

ゆうべのきおく

NPO法人日本語サポートあさ
代表 小川 ひろみ さん

日本語を学ぶ海外の学生との交流「熊本にほんご交流'97-99」でのこと、フランス人学生が空港に降り立ち開口一番、辞書を片手に「ゆうべのきおくはありますか」「昨夜の記憶？」迎えの高校生はよってたかって身振り手振りで「オー！カミナリ、ゴロゴロ」お互い意味不明で???翌朝、日本語の教室で謎が解きました。
日本語初心者には特殊音(小さい「っ」長音「伸ばす音」撥音「ん」拗音「きゃきゅきょ等」)が難しく、つまりフランス人学生は「郵便局はありますか」と聞きたかったわけです。
夏が来れば思い出す「日本語の記憶」でした。

☆平成23年度 賛助会員募集!!☆

(財)熊本市国際交流振興事業団では賛助会員を募集しています。当事業団の活動にご理解とご支援をいただくと共に、さらなる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。
会員の方々には、事業団の機関誌『ニュースレターくまもと』の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。また、Denkikan様のご協力により映画鑑賞料金の割引特典や当事業団主催講座の受講料会員割引特典もあります。

- ①個人会員 一口 2,000円/年(一口以上)
- ②団体会員 一口 10,000円/年(一口以上)

平成24年3月までの会員期間となります。

＜入会のお申し込み・お問い合わせ＞

(財)熊本市国際交流振興事業団事務局
〒860-0806 熊本市花畑町4-8 熊本市国際交流会館
TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783
E-mail:ad-info@kumamoto-if.or.jp

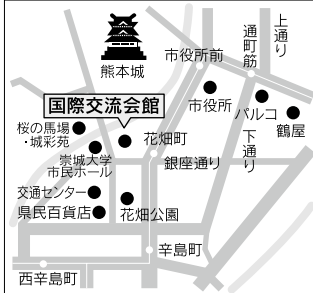
皆様継続・新規ご加入ありがとうございました

(平成23年6月10日現在) (個人)50音順(敬称略)

- | | | | | |
|--------------|----------|----------|----------|--------|
| 秋岡 貴 緒方 眞 美子 | 田崎 彩 花 | 立花 英 雄 | 樋口 謙 二 | 松倉 裕 二 |
| 岡川 正 真 依 依 依 | 崎西 里 美 咲 | 尾谷 博 美 咲 | 口井 平 義 義 | 倉崎 松 三 |
| 川南 大 依 依 依 | 西本 辰 三 三 | 谷口 和 史 史 | 平瀬 廣 京 誠 | 松村 紀 由 |
| 荒馬 尊 典 典 | 岡阿 辰 三 三 | 角田 永 鶴 | 福嶋 多 美 昭 | 本松 本 山 |
| 有寄 大 景 隆 | 阿川 真 利 友 | 鶴出 永 鶴 | 福永 美 和 | 本松 本 山 |
| 石渡 龍 豊 一 | 川野 賀 友 子 | 寺外 越 美 美 | 福永 阿 里 | 宮松 松 丸 |
| 井出 豊 一 美 | 北古 賀 友 子 | 下川 英 憲 | 川里 英 憲 | 三宮 宮 宮 |
| 今江 豊 一 夫 | 北島 真 令 直 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 上野 綾 治 | 木村 村 村 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 上野 裕 典 | 原原 義 由 明 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 上原 展 文 | 原原 義 由 明 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 上原 清 敬 | 原原 義 由 明 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 上原 隆 介 | 原原 義 由 明 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 上原 雅 一 | 原原 義 由 明 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 宇梅 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |
| 大木 史 史 | 田池 後 小 | 中川 石 智 | 藤崎 華 衣 | 宮宮 宮 宮 |

私たちは熊本の国際交流活動を応援しています!
(団体)50音順(敬称略)

- 阿蘇ハイランド開発株式会社
- NIコミュニケーションズ+キャリアアウェーブ
- 株式会社キャップ
- 株式会社熊本シティエフエム
- 株式会社県民百貨店
- 株式会社コスギ不動産
- 株式会社JTB九州熊本支店
- 株式会社ニュースカイホテル
- 株式会社北翔工業
- 学校法人鎮西学園
- 九州産交ツーリズム株式会社熊本交通センターホテル
- 九州水株株式会社
- 熊本液化石油ガス事業協同組合
- 熊本学園大学
- 熊本教育委員会学校教育部
- 熊本城桜の馬場リテール株式会社
- 国立学校法人熊本大学
- 志成館高等学院
- 下田れい子お筆教室
- マルヒサ食品
- 有限会社ビジネスマン 新熊本ホテル
- London Bridge International School



- 阿蘇くまもと空港より 車で45分
- 熊本交通センターより 徒歩3分
- 熊本市電花畑町より 徒歩3分
- from Aso-Kumamoto Airport-45minutes by car
- from Kotsu Center-3minutes walk
- from "Hanabata-cho" tram stop-3minutes walk

熊本市国際交流会館 国際交流サポートセンター
開館時間 午前9時～午後8時
多文化共生オフィス(午前11時～午後6時)
096-359-4995(直通)
休館日 第2・第4月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)
Civic Support Center for International Exchange and Cooperation
Kumamoto City International Center
Service Hours 9:00 a.m.-8:00 p.m.
Multicultural affairs office(11:00a.m.~6:00p.m.)
096-359-4995(Dial-in)
Closed:2nd and 4th Mondays of each month,Dec.29th~Jan3rd